

(別紙)

## 推 奨 映 画 に つ い て

題 名	ぼけますから、よろしくお願いします。
監 督 名	信友 直子
製 作 者	株式会社 Netzgen・フジテレビ・関西テレビ
内 容	<p>広島県呉市で暮らす85歳の母が認知症を発症。これまで一切家事をしなかった父が「これも運命」と笑い、95歳にして初めて掃除や料理、裁縫など家事全般を始める老々介護の日々が始まった。娘は老いた父母の姿を1200日にわたり撮影。涙と笑いに満ちたドキュメンタリー映画。</p> <p>映画の題名は、正月に母が娘に話した言葉からつけられた。</p>
推 奨 理 由	<p>認知症の患者を抱えた家族の日々を娘である「私」の視点から丹念に描き、どの家族にも起こりうる普遍的な問題としてとらえたドキュメンタリーとして、老いていくこととは何か、家族とは何かを考えさせられる作品となっている。</p> <p>登場人物である父親と母親が年老いていく姿から、人が生きていくことの厳しさを突きつけられる映画であるが、その中で家族愛や現実から目をそむけず、助け合うことの大切が伝わる作品である。</p> <p>現実をありのままに伝える映画のため、鑑賞する立場によって様々な視点の設定が可能であり、この現実をどのように受容するか、青少年が自ら考えられるように、家族などの大人と一緒に鑑賞することが望ましい。</p> <p>以上のことから、青少年の健全な育成に役立つ有益な映画と認められる。</p>
上映期間・場所	上映中 場所：横川シネマ外県内劇場